

平成26年度市長施政方針

「げんき、やさしさ、
しあわせあふれる
縁結びのまち 出雲」をめざして

2月20日、出雲市議会定例会が開会し、長岡市長が平成26年度の施政方針を表明しました。

施政方針の主な内容を所信、市政運営のポイントと重点的に取り組む4つの戦略プロジェクトに沿って紹介します。

I. 所信

昨年は、出雲大社の60年ぶりの「本殿遷座祭」や約40年の歳月を経た「斐伊川放水路」の運用開始など、歴史的なできごとがあった一年でした。新年度は、新市誕生から10周年の節目を迎えます。

引き続き、市政の指針として策定した新たな出雲の國づくり計画「出雲未来図」の理念である「市民が主役のまちづくり」、「地域特性が光るまちづくり」、「自立するまちづくり」を基本に、本市の将来像である「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち 出雲」の実現にまい進します。

II. 市政運営のポイント

新年度の市政運営のポイントは、次の3点です。

1. 定住促進と交流人口の増加

○平成33年の目標人口17万人台の維持に向けた施策

- ・人口減少が続く中山間地や海岸部における暮らしの魅力、自然環境の良さを発信や地域活動の支援
- ・雇用創出、結婚対策、子育て支援
- ・UIターン促進を重点項目に、地域の実態に配慮した定住施策の推進

○平成の大遷宮による出雲の注目度の高まり、観光客増加に伴う大きな経済波及効果を契機としたにぎわいの定着、継続、発展に向けた施策

- ・縁結びや神在月など出雲ブランドと出雲暮らしの良さを全国へ情報発信する「出雲シテイセールス事業」の実施

2. 行財政改革の推進

○新たな行財政改革大綱と実施計画の策定

○次世代に高負担を強いることのない持続可能な財政運営に向けた取組

- ・総人件費の抑制
- ・事務事業や補助金・負担金の見直し
- ・公共施設のあり方や管理経費の見直し

○均衡ある使用料・手数料体系の構築

○新年度から平成28年度までの3か年の集中改革期間

- ・数値目標を掲げ、スピード感を持った集中的取組
- ・「行政改革部」を新設し、推進体制を整備

3. 開かれた市政のさらなる推進

- 市民が主役のまちづくりの推進
- ・住民参加による市政運営
- ・市長ポスト、まちづくり懇談会や市長と夢トークなど幅広い市民との情報交換



- 情報発信の強化
- ・広報紙、ホームページによる発信
- ・ソーシャルメディアの充実、広報紙の電子書籍化
- 行政情報の見える化

- ・出雲市の住みやすさに関する統計や情報を他自治体と比較し、図表化や序列化などわかりやすい情報の提供

Ⅲ. 主要施策・主要事業

- 「出雲未来図」の将来像の実現に向け、重点的に取り組む4つの戦略プロジェクトに沿って、主要施策・主要事業を説明します。

1. 雇用創出2,000人プロジェクト

- 産業振興と多様な就業機会の確保に努めます。

(1) 商工業

- ・地域外需要の獲得による地域経済の循環拡大を図るため、足腰の強い地場産業の育成と製造業や医療機関・福祉施設の集積、県内一の観光地を有する本市の特性を生かした新産業の創出に取り組みます。

○地場産業の経営力強化

- ・経営者やその後継者の資質向上、技術者の育成支援

○製造業の振興

- ・中海・宍道湖圏域の企業情報のデータベースを活用したビジネスマッチングや企業間交流の促進
- ・医療・福祉分野と産業技術の連携促進
- ・食品製造業を中心とする海外市場の販路開拓の支援

- ・縁結びをテーマに、市内企業の優れた技術や製品、農水産品に観光資源をからめたストーリー性のあ

- る情報を発信し、販路の拡大、異業種連携を促進

○創業支援

- ・21世紀出雲産業支援センターのワンストップ窓口化
- ・創業塾の開講

○商店街の再生・活性化

- ・空き店舗対策の対象区域の拡大
- ・中心商店街の若手経営者や後継者が実施するにぎわい創出の支援

○企業誘致

- ・斐川中央工業団地（仮称）の整備と早期の企業立地の取組
- ・IT、事務センター等のソフト産業系業種の誘致

○雇用対策

- ・出雲地区雇用推進協議会やジョブ・ステーション出雲を中心とした就職相談、求人情報の提供、若年層の離職率改善等の取組
- ・インターンシップ制度を活用した学生や未就労者の市内就職、職場定着の推進

(2) 農林水産業

○国の農業政策見直しへの対応

- ・関係機関や農業者との十分な協議による制度の円滑な移行

○農業の担い手

- ・地域の中心となる担い手への農地集積の取組
- ・アグリビジネススクールや給付金

- 制度等の支援策を活用した新規就農者の育成

○特産品の振興

- ・ぶどうのリースハウス整備による生産規模の維持拡大と後継者の確保

○農畜産業の6次産業化

- ・モデルである佐田地域での新たな加工品開発の支援

○農業基盤整備

- ・ほ場整備事業による農地集積の促進
- ・老朽ため池の安全確保対策

○林業の振興

- ・市公有林に整備する作業道を基点とした間伐等の実施
- ・市民による森づくり支援

○松枯れ対策

- ・樹幹注入と伐倒駆除による防除対策の集中的実施

○シカ、イノシシなどの野生鳥獣被害対策

- ・国の捕獲奨励金増額制度の活用や県と連携した捕獲強化
- ・防護ネットや電気牧柵等防除対策の推進

○水産業の振興

- ・魚価向上や新規就労への取組
- ・アカアマダイ中間育成の重点支援
- ・シジミの生産拡大の支援
- ・大社町鵜鷺地区での地域資源を活用した取組の支援

2. 定住人口キープ17万人プロジェクト

本市に住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりを進めます。

○「縁結び定住課」を新設

○子育て世代の住宅取得などの負担軽減

・子育て世代支援や3世代同居の促進を図る住宅リフォーム助成制度の見直し

○定住支援センターの機能強化

・不動産業者とのUIターン希望情報や空き家情報の共有化

○結婚対策

・婚活支援セミナーや結婚を応援いただく世話役の育成



・広域的な男女の出会いの場づくりの支援

○出雲の真のブランド化

・市民委員会を中心とした地域の魅力再発見の継続的な取組

○出雲シテイセールス事業

・出雲暮らしへのあこがれを喚起するさまざまな取組の情報発信
・本市出身監督の映画制作の支援と映画を活用した出雲の魅力PR
・地元女子サッカーチームのプロスポーツ化の支援



○コミュニティ活動の推進

・市民の地域活動拠点であるコミュニティセンターの活用促進
・自治会加入率の低い地域の重点的な加入促進の支援

・集落支援員や過疎地域支援専門員と連携した佐田・多伎地域でのコミュニティビジネスの支援

・集落応援隊の派遣

3. 交流人口1,000万人プロジェクト

本市の豊かな歴史・文化・自然資源を最大限に生かした施策に取り組みます。

○観光振興

出雲大社正遷宮によるまちのにぎわいを継続するため、広域的な交通渋滞対策、観光客の周遊性を高める方策、宿泊機能の強化に取り組みます。

・女性観光客が快適に過ごせる観光地づくり

・出雲の歴史や文化、美しい自然と食

文化などを組み合わせた「出雲ならではのおもてなし」の仕掛けづくり
・出雲観光協会の組織体制と機能の強化

・神門通りや出雲大社勢溜周辺の歩道等大社門前町の整備
・市内民間宿泊施設の新築、増改築の支援

○文化財の保護・活用

・「出雲国風土記」を活用した出雲ブランドの情報発信

・斐川中央工業団地（仮称）内で発掘された道路遺構の保存調査の着手
・出雲大社の建造物保存修理の支援
・鰐淵寺の総合調査、田儀櫻井家たたら製鉄遺跡の整備

○広域連携

・中海・宍道湖・大山圏域市長会での観光、産業及び環境分野の一体的な取組

・大田市や出雲の國・斐伊川サミットを通じた広域観光の情報発信や文化交流の推進

○国際交流

・青少年の海外派遣事業や多文化共生の取組の支援

○公共交通ネットワーク

・バス交通は、福祉バスを含めた一体的な協議を運行協議会と進め、より多くの利用が見込まれる運行形態を検討

・一畑電車の車両更新等の基盤整備の支援と利用の促進

・出雲縁結び空港の機能強化や路線拡充など利便性向上の取組

・山陰新幹線や中国横断新幹線の導入の推進

・山陰道、境港出雲道路、県管理国道や県道の整備促進

・尾道松江線の利用促進の取組

・街路整備の推進

・市道来原線「大津里道踏切」の緊急安全対策の継続実施

・市道や下水路の整備

4. 住みやすさナンバー1プロジェクト

○安全・安心

市民の皆さんが安心して子どもを育て、働き、暮らせるまちづくりを進めます。

(1) 安全・安心

○安全・安心のまちづくり

市民の生命・財産を守り、安全・安心を確保するため、防災・減災への取組を積極的に進めます。

・原子力発電所の安全対策等に周辺自治体の意見が反映されるよう、



国への新制度の創設、中国電力への立地自治体並みの安全協定締結を求める

- ・出雲市原子力発電所安全対策協議会（仮称）の設置
- ・広域避難計画の実効性の向上

- ・平田、大社地域、出雲地域平野部でのデジタル式防災行政無線整備の取組
- ・通学路安全対策として、市道の転落防止柵等の施設整備、路側帯の引き直しや防犯灯の整備
- ・平田消防署庁舎の整備

- ・消防救急デジタル無線の運用開始
- ・斐伊川・神戸川治水対策の大橋川改修事業推進を国に要請
- ・分水同意条件である新内藤川、赤川等の県管理河川整備を県に要請
- ・空き家の適切な管理を促すための条例を制定

○子育て支援

- ・小学校就学前まで医療費無料化を拡大
- ・子ども・子育て支援事業計画を策定し、国の新制度や地域課題に対応した施策を推進

- ・幼稚園業務を「子育て支援課」



へ移管し、保育所業務と一元化を図る

○健康づくり・福祉の充実

- ・がん対策として、最新の知見に基づく検診の実施や受診率の向上
- ・母子保健対策として、発達障がいなど支援が必要な子どもたちの早期支援体制づくり
- ・乳幼児健診や健康相談等の母子保健事業に加え、乳幼児から若者まで一貫した相談や支援を提供できる拠点施設の整備の検討



- ・障がい者福祉計画や高齢者福祉・介護保険事業計画の策定
- ・「認知症カフェ」の開設

- ・大規模災害時に備えた災害時要支援者ネットワーク事業の拡充
- ・市立総合医療センターの予防医療の充実、病気の早期発見、早期治療の取組

(2)人材育成

○教育行政の推進

家庭、地域、学校の連携のもと、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を通して、未来を担う人材の育成を進めます。

成を進めます。

- ・小中学校の再編は、関係地区の検討委員会と協議を推進
- ・小中学校のパソコンなどを最新機器に更新
- ・今市幼稚園を特別支援教育の拠点に加え、支援体制を充実
- ・幼稚園での保護者への緊急時メール配信システムの導入やAEDの設置
- ・確かな学力の向上を推進する係を新設



- ・小学校の拠点校へ学校司書を配置
- ・いじめ、情報モラル教育、不登校等への対応
- ・教育施設の耐震化対策や、佐田中学校の整備、第三中学校の改築、西野小学校屋内運動場の改築
- ・学校給食での地産地消の推進、食物アレルギーの対応

○青少年の育成・支援

- ・子ども・若者支援センターを拠点とした悩みや心配を抱える子ども・若者やその家族の相談、支援

(3)環境

○環境のまちづくり

- ・トキ分散飼育によるトキ野生復帰への

貢献や環境保護に対する意識の高揚

- ・ごみ減量化と再資源化の取組
- ・道の駅「キララ多伎」と道の駅「湯の川」での電気自動車急速充電スタンドの運用開始
- ・次期可燃ごみ処理施設建設用地の選定調査、建設候補地の絞込み

○新エネルギーの活用

- ・住宅用太陽光発電システムの設置助成
- ・新エネルギーツアーやセミナー開催

○上水道

- ・新向山系基幹管路の整備
- ・向山配水池の耐震化対策に着手

○下水道

- ・公共下水道事業の計画的な推進、計画区域拡大
- ・斐川地域阿宮地区での農業集落排水事業、平田地域美保地区での小規模集合排水事業の推進

結び

持続可能な財政構造への転換をめざすとともに、市民の皆さんの生活を一番に考え、温かい絆のある地域の中で安全で安心して暮らせるよう、市政の運営に全力を尽くすことを誓い、新年度の施政方針とします。

おたすね／政策企画課 ☎ 6614